

ボランティア
がわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

【発行所】

〒380-0813 長野市緑町1714-5

長野市ボランティアセンター内

TEL:026-227-3707 FAX:026-224-1513

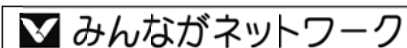
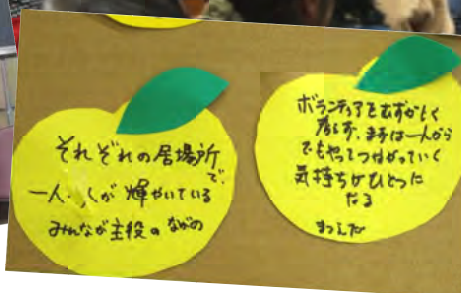
URL <http://vnetnagano.or.jp>

E-mail: volucen@vnetnagano.or.jp



ボランティアばんざい!

ボランティアのつどい
みんなで未来を語った



このかわらばんは信毎販売センターのご好意で
一部の地域へボランティアで配布いただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金  のご協力で発行しています。

表紙題字：青木孝子さん



ボランティアばんざい！

ボランティアのつどい みんなで未来を語った

1〜2月号で掲載してきましたボランティアのつどいは、2月24日、盛大に行われました。大詰めの実行委員会から当日まで、自身も実行委員として「かわらばん号外」を発行するなど大活躍だった茶嶋宏明記者がレポートします。



実行委員のチカラ ボランティアの力

少しさかのぼること約一ヶ月。1月22日の第4回実行委員会でチラシが完成。温かみのある手書きのイラストが、テーマのキャッチフレーズである「ともに、つなぐ、つむぐ、つたえよう」をやわらかく表現しています。イラストを描いた市立長野高校新井理子さんと広報係が打合せと描き直しを重ね、実行委員から「とてもいい」と好評でした。また、立場や経験が多様な実行委員の皆さんらしく、多方面から物事を見ているので、フリータイムから全体会へのつなげる手法として、「夢の木」やゲリラカフェなどとても楽しい展開。驚くようなアイデアや意見が飛び出しました。

2月12日、最後の実行委員会。当日スケジュールを中心に、係を越えていろいろな視点から実行委員全員で確認しました。特に一番の核になる全体会の内容については、進め方、時間の長さなど、最後まで熱い意見が飛び交いました。昨年12月からいろいろな人のチカラを合わせて準備を進めてきた今年のボランティアのつどいは、どのようなカタチになるのでしょうか。



←
長野西高校書道班の作品。
「語る」(表紙写真)と「未来へ」がかかげられています



↑
熱気に包まれ汗ばむほどの5階ホールでオープニングが始まります！



→
Primoのメンバーが夢の木の精となって、サブテーマのパネルを持って

ボランティアのつどいで
未来を語った！



ボランティアが集った！
ボランティアを語った！

ついにボランティアのつどい当日になりました。朝から雪が積もっていたので駐車場の雪から準備がスタート。

♪ 元気にオープニング

会場となったふれあい福祉センターには、徐々に人が集まり会場全体が賑やかに。

10時、オープニングです。5階ホールには71団体約300人の参加者が集まり、熱気が溢れて暑いくらいでした。ホール正面両サイドに長野西高校書道部による大きな筆文字の「語る」「未来へ」が掲げられ、冒頭でそれを力強く書く様子のビデオメッセージが放映されました。

久保田和幸副実行委員長長の提案で参加者がお互いに握手であいさつをした後、「音楽ボランティアサークルPrimo(プリモ)」の大学生3人が、今年のキャッチフレーズである「つなぐ」「つむぐ」「つたえよう」の趣旨と「夢の木(※)」について説明。小学生5人がインターネット生中継のお知らせをするなど、若さ溢れるオープニングとなりました。

(※)夢の木…この日の感動を書き留めるためのオブジェ

ボランティアばんざい！

ボランティアのつどい みんなで未来を語った



♪ 活気と熱気

♪ ごちゃまぜのフリータイム

フリータイムは今年のメインテーマである「語る」時間です。参加者それぞれのブースで、通路や休憩スペースなどで、互いに想いを語る姿が見られます。自分たちの普段の活動を知ってもらうためにパネルを展示したり、映像を流したり。おいしいものあり、読み聞かせや紙芝居や三味線演奏、被災地支援の物販まで、熱気でむんむん。

記者も体感

私もかわらばん号外(つどい当日発行)取材の合間にアシスタントカメラマンで市立長野高校白井優奈さんと、吉田日本語教室の皆さんが中華やタイ料理などを作っている所にお邪魔しました。餃子の皮包み方を教えてもらいながら体験しましたが、なかなかうまく出来ず悪戦苦闘。他にも体験型のブースがいくつもあり、それぞれが工夫して様々な方法で発信していました。

神出鬼没 ゲリラ語り場

11時からにはゲリラカフェ。会場内で突如「語る場」が出現。担当の実行委員が一生懸命話を聞きだし、話す人たちが生き生きと語る姿はとても印象的でした。ここで集められた話が午後の全体会へとつながります。「夢の木」にも次第にキーワードが集まり、全体会の前には沢山のメッセージや言葉でいっぱいになりました。

茶嶋記者による
かわらばん号外。
当日限定希少品



おそろいのいつもくんTシャツに身を包み受付中の実行委員



↑
いつものサロンをそのまま再現。おいしいお茶と笑顔でお迎え



♪ 感動を未来へ! 全体会

さらに、今年は会場の様子を住民ディレクターたちが取材して、次々とYouTubeにアップしたり、Uストリームで中継。世界中に発信されました。つどいの最後はみんなで語りあう全体会です。宇賀田伸彦副実行委員長の元氣な呼びかけで幕を開け、内山二郎実行委員のリズミカルな進行で「夢の木」に貼られたカードをもとに語り合いました。

感動

参加者の皆さんから今日の感想を聞くと、「犬も人も食べられるお菓子があって感動した」「若い人が話を聞いてくれて楽しかった!」「こんな場がある長野市はすごい」などの声が。参加した大学生からは、いろいろな世代の人と交流できて良かったという声や、初めて参加した視覚障がいの方からは、「みなさんの活気に驚いた!」という話が出ました。

つながる

そして今年のキャッチフレーズの「つなぐ」について話題になると、引きこもりの青年の居場所作りをしている「アトリエ虹」と犬の里親探しをしている「夢まるHappy隊」が犬と一緒に遊んだらどうかとつながりました。精神障がい者を支援する皆神ハウスからは、音楽ボランティアサークルPrimoにラブコールが。Primoの大学



ボランティアばんざい！

ボランティアのつどい みんなで未来を語った

生も、「机上での勉強よりも現場の方が何倍も役に立つ」とその場で応じました。

また、「普段の活動でずっと支援をもらっていた団体と偶然今日初めて直接会えた」など、フリータイムの間にいろいろな場所ですなかりができていたことが判りました。

つむがれる想い

さらに、活動の想いへと話が展開。「童謡や民話を語り継いでいきたい」「震災復興支援を続けていこう」「点字を読めない視覚障がい者のために音声読み上げで聞けるように」など次々と声があがりました。

自分たちで未来を創る

そしていよいよ今年のテーマである「未来へ向かって」に話は移ります。

「安心して生きることができるよう」「自然に助け合ってお互い様になれる地域社会に」「小さな声が届く社会に」「この若い人たちのチカラを世界へ」「夢を応援できるまち」「笑顔いっぱい長野」などなどたくさん意見が集まりました。そして、内山さんの「今の困難な時代を我々の手で明るい未来にしていこう」というメッセージに拍手が起きました。

最後は、当日会場での皆さんの楽しそうな明るい笑顔の写真を編集した映像が流れて今年のボランティアのつどいは無事終了しました。



老いも若きも男も女も想いを語る、熱く語る！



住民ディレクターによる生中継も！



夢の木に貼られたカードは、実行委員が会場で集めてきたもの。全体会の進行に活かされました。

全体会では要約筆記ボランティアも活躍



感動の余韻・気づき 来年へつなぐ

実行委員会のつながり

終了後、長坂平和副実行委員長に感想を聞くと、「想いの強い人がこんなに沢山いることに驚いた。そんな人はもつと少ないと思っていたので、とても元気づけられた」とのこと。また、実行委員会を重ねて準備して行く中で、議論のぶつかりもあったが、当日に近づいていくにつれ一体感が生まれ、実行委員の中にも「つながりができてきたと感じたそうです。」

このつながりを来年に！

今回、私は初めてボランティアのつどいにかかわらせていただき、実行委員会から取材をしました。しかし、最初は全く当日のイメージが湧かず、これで大丈夫なのかなと感じていました。会議を重ねるうちに、かなり想像はできるようになりましたが、それでも見えない部分がありました。ところが、当日が近づくと急速に実行委員のまとまりや「つながり」がよく見えるようになり、当日は参加者の皆さんのパワーも合わさり、予想を遥かに越えた盛り上がりや密度の濃い内容となりました。

これは筆舌に尽くしがたいので、ぜひ来年のボランティアのつどいには沢山の方々に参加していただき、この感動を味わっていただきたいと思っています。

東日本大震災から2年 復興へ向けて支援は続いています

3・11を忘れない 今、私たちにできること

歌と踊りで

・ 中条地区 お達者クラブ
・ ハッピーサークルながの

震災から2年。

自分たちができることで、被災地に思いをつなげている人たちがいます。2月15日、かがやきひろば中条で、二つのグループが一緒に歌いダンスを楽しみました。

中条地区のお達者クラブは70代から90代の元気なお年寄りのサロン。その皆さんが、被災した人を応援する歌「あおぞら」を作り、定例会で必ず歌っています。被災地も中条も同じ空でつながっていることから、青空から湧くイメージと震災の様子を見て感じたことを言葉にしてつなぎ、歌詞にしました。

「『つなみ』『わすれない』『流された』『毎日がいい』『おし』『など、つらいイメージの言葉も』忘れないため」にあえて歌詞に入っている」と、同クラブで歌の指導をし、曲をつけた小林昭一さんは言います。その

思いが「ハッピーサークルながの」につながりました。「ハッピーサー

クルながの」は中高年から高齢者を対象にハッピーダンス体操を通して仲間作り・生きがい作りをしているボランティアグループです。震災支援では長野市災害ボランティア委員会に属し、岩手県大槌町へ出向いてボランティア活動をし、今も支援を続けています。同グループで体操を教える若山典子さんは「あおぞら」の歌に感動し、ダンスにして踊ることでこの歌を広め、復興を願おうと思い立ちました。歌詞の一つひとつの言葉から振り付けを考え、「ステップは



復興への思いを歌と踊りに込めて

復興への歩みを表現、ゆっくり歩いたり急いだり、右や左に寄り道をし、立ち止まって考えたり振り返ったり。一人から大きなつながりの輪になる様を、手をつなぎひとつの円になることで表した」と若山さん。また、どんな人もこのダンスが踊れるように、手話とともに復興への思いを込めて、新たな歌詞「おれたちは決して忘れない」「夢にむかって飛び立とう」も盛り込まれました。

「歌がダンスになってびっくり。自分も踊れてよかった」とお達者クラブの皆さん。「震災を忘れない」ために一緒に歌い、踊る。「今後、地区のイベントなどでみなさんと踊れたら」。二つのグループの思いはふくらみます。

震災ボランティア学習

通明小学校

はんどめいどプロジェクトi（※）では、昨年12月末に通明小学校6学年134人に「知ろう！ 考えよう！ 震災のこと」というタイトルで、被災地のことをパネルやビデオで見てもらったり、実際に現地で見聞きた

一人一つずつ思いを込めて作ります



様子などをお話しして、理解を深めてもらいました。

その学習の中で児童たちは「何か自分たちにできることはないだろうか？」と考えました。その結果、自分たちのハンドメイド商品をバザーで売って寄付しようとなりました。2月のバザー当日には、一人一つずつ心を込めて作ったくるみボタンのヘアゴムや手編みのコースター、ストラップなどが、売り子担当の児童の元気な掛け声とともに保護者の方々に次々とお買い上げいただきました。当日の売上は51,700円、募金も6,765円と、たくさんの方のご支援と温かいお気持ちのおかげでいただきました。ありがとうございました。

サロ

第6回 mama labo子育て座談会

子育てママ同士の交流の場です。託児サポート付きですので、どうぞお気軽にご参加ください!!お子さんのいない方でも大歓迎です♪

日 時：3月10日(日) 10:00~12:00

場 所：長野市ふれあい福祉センター

参加費：無料

問：信州エンターテイメント (富山)

TEL：090-7816-9101

E-mail：info@shinshu-entertainment.org

おしゃべりサロン あいまい会

誰かに会いたい時、お話ししたくなった時、サロンに来て思い切りおしゃべりしましょう。

日 時：3月19日(火) 13:30~15:30

場 所：長野市ふれあい福祉センター

参加費：100円

問：あいまい会 (岩佐)

TEL：026-227-0004



お知らせ

ボランティア活動保険に入りましょう!

ボランティア活動に保険があるのをご存知ですか?平成25年度ボランティア保険の受け付けが始まりました。安心してボランティア活動ができるように、活動中の様々な事故によるケガや、賠償責任を補償する保険への加入をお勧めします。

保険料など、詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。

保険料：Aタイプ300円 Bタイプ450円 (基本タイプ)

問：長野市ボランティアセンター

TEL：026-227-3707

話・し・た・い・と・き いつも傾聴でんわ

誰かと話をしたい、誰かに話を聞いて欲しいと思うことはありませんか。「いつも傾聴でんわ」は掛けてくださる方の心に寄り添ってひたすら話をお聴きし、ちょっとした気持ちも軽くしていただければと願っています。電話の受け手は専門研修を受けたボランティアですので、安心してお話ください。

日 時：月・土/14:00~18:00 水/14:00~21:00

TEL：026-225-0404

現場状況 1月分

(取りまとめ期間:1月4日~1月31日)

相談件数	
ボランティアしたい	25 件
ボランティア求む	25 件
情報求む	37 件
ボランティア活動支援	45 件
ボランティア活動上の悩み	6 件
よろず相談・悩みごと	6 件
ボランティア保険・事故処理	1 件
その他	12 件
合計	157 件

問い合わせ件数	
会議室予約	555 件
伝言	465 件
情報提供	748 件
機材貸し出し	363 件
チラシ・掲示板	170 件
その他	344 件
受付(よりいい会等)	386 件
合計	3031 件

その他	
情報カード受付	37 件
機材貸し出し	15 件
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	15 件
行事用保険	4 件
在宅福祉サービス総合保険	0 件
送迎サービス補償保険	0 件
合計	71 件



ハガキ、切手、テレホンカード、ベルマーク等
1月26日~2月25日分

三井ホーム 浅川地区社会福祉協議会 明治安田生命保険
長野モラロジー事務所 渡辺寛子 新光電気工業
長野市収納課・厚生課 カガヤき広場松代 長野都市ガス
朝陽地区ボランティアセンター 大豆島支所 川住直子
㈱前田鉄工所 ㈱ウォーターエージェンシー 松下信彦
林大輔 山田安男 宮崎瑠美 宮下廣喜 (敬称略)
有効に活用させていただきます。

ボラセンはみ出し情報

2月21日(木)、長野市ボランティアセンターに滋賀県大津市社会福祉協議会と、諏訪市社会福祉協議会・諏訪市ボランティアセンター運営委員の皆さんが視察にお見えになりました。

当日はボランティアセンター運営委員会と一緒にご参加いただきました。



イベント

平成24年度 長野市地域福祉推進セミナー 地域ネットワークで 「孤立死」に立ち向かえ！

今や大きな社会問題となっている「孤立死」。地域コミュニティが衰退しつつある中で、「孤立死」は私たちの身近な所でも発生する深刻な課題となっています。孤立死を防ぐために、地域として取り組むべきことは何なのか、私たち自身が出来ることは無いのだろうか、地域をフィールドに活動する皆さんと一緒に改めて考えてみませんか。

日 時：3月22日(金) 13:30～16:00 (受付13:00～)
場 所：長野市若里市民文化ホール
講 師：結城康博さん (淑徳大学総合福祉学部准教授)
定 員：600人

対象者：住民自治協議会関係者、区長、民生児童委員、福祉推進員、ケアマネジャー、地域福祉活動及び福祉事業の関係者等

問：長野市社会福祉協議会・地域福祉課 (荒井・寺島)
TEL：026-227-3030

Primo おかしなコンサート

誰でも楽しめるコンサートを目指します。詳しくはホームページをご覧ください。ご来場お待ちしております。

日 時：3月30日(土) 13:30開演 (13:00開場)
場 所：篠ノ井市民会館
定 員：500人
入場料：300円

問：信州大学音楽ボランティアサークル Primo
(長谷川・米山)

E-mail: greenfishsand@yahoo.co.jp
HP: http://primo.rakurakuhp.net/

活動を円滑に！ 「レクリエーション」ご参考まで講座

北信レクリエーション協会長野ブロックでは、新年度の活動のご参考になればと「レクリエーション講座」を企画しました。幼児から高齢者までを対象にレクリエーションの一部を紹介します。

日 時：3月20日(水・祝) 9:00～13:00
場 所：長野市ふれあい福祉センター
対象者：どなたでも
持ち物：筆記用具、動きやすい服装でご参加ください
参加費：無料

問：北信レクリエーション協会長野ブロック
TEL：090-5550-9717 (支部長 松本)
026-241-4653 (スポーツヨッホ)

ワールドスタディカフェ 2013 ～この世界はきっとどこかでつながっている～

内閣府青年国際交流事業の説明会と体験談を開催します。フォトジャーナリスト安田菜津紀さんの講演会もあります。

日 時：3月17日(日)14:30～ (受付14:00～)

場 所：アイビースクエア

定 員：50人 (定員になり次第締切り)

参加費：一般500円、学生300円、高校生以下無料
(軽食&飲み物付き)

対象者：海外の文化や社会について興味のある方

問：長野県青年国際交流機構 (山浦)

TEL：090-2308-8270

FAX：026-292-9511

E-mail: iyeonagano@yahoo.co.jp

HP: http://naganoiyeo.s147.xrea.com/



カレンダーで封筒を作ろう

かわらばんをみなさんに届けるための封筒を古いカレンダーで作ります。どなたでもお気軽にどうぞ。

日 時：3月5日(火) 10:00～12:00

場 所：長野市ふれあい福祉センター

問：長野市ボランティアセンター (西澤)

TEL：026-227-3707

パペット落語

世界30ヶ国、80都市…世界を笑わせたパペット落語。その型破りなステージを一度ご覧ください！

日 時：3月20日(水・祝) 14:00～、18:00～

場 所：東部文化ホール (柳原総合市民センター内)

対象者：小学生以上

参加費：会員制 4歳以上 入会金500円 月会費1,400円

問：長野北部子ども劇場 (上野)

TEL/FAX：026-244-9616

E-mail: nhkodomococoa.plala.or.jp

HP: http://www2.plala.or.jp/nhkodomococoa



2013年

3月



ボランティア かわらばん



ボランティア情報誌

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel: 026-227-3707 Fax: 026-224-1513
URL <http://vnetnagano.or.jp> E-mail: volucen@vnetnagano.or.jp

災害関連

情報市場 祝日拡大版

今回は、情報市場拡大版としてテーマをしぼって情報交流します。長野市他で、震災直後から災害支援ボランティアをしてきた皆さんから、岩手県大槌町を中心とした被災地の現在の様子や、これからの活動のあり方について聞いてみませんか？

日 時：3月20日(水・祝) 14:00~16:00

場 所：長野市ふれあい福祉センター

問：ながのボランティア・市民活動支援
ネットワーク事務局

FAX: 026-224-1513

E-mail: info@nagano-shien.net

URL: <http://www.nagano-shien.net/>

復興支援 謙竹会チャリティーコンサート

被災地の支援が徐々にすすんでいく一方、現状は全く復興の光が見えません。民謡で支援を続けています。入場料が支援金になります、ご来場お待ちしております。

日 時：3月17日(日) 開演10:30 (開場10:00)

場 所：長野市若里市民文化ホール

定 員：600人

入場料：500円

問：民謡&津軽三味線謙竹会 (山本)

TEL: 090-2679-8658

FAX: 026-296-0675

E-mail: koma2381946@yahoo.co.jp



ながの福ゾウくんプロジェクト

毛糸や布で小物作りをして、被災地支援をするさろんです。予約はいりません。楽しくおしゃべりしながらもの作りをしましょう。どなたでも参加出来ます。

日 時：＜昼の部＞3月14日(木)、28日(木)

13:30~15:30

＜夜の部＞3月26日(火) 18:30~20:30

問：長野市ボランティアセンター (長岡)

TEL: 026-227-3707

震災から2年...

自分たちにできることで、被災地に思いをつなげている人たちがいます。

「震災を忘れない」パネル展

災害を忘れないためのパネル展です。岩手県大槌町の被害の様子やボランティア活動の様子、現地の皆さんの声をお届けします。

期 間：3月4日(月)~15日(金)

場 所：長野市役所第一庁舎2階ロビー

問：長野市災害ボランティア委員会 (倉石)

TEL: 026-227-3707

子どもたちを放射能から守るために 信州でできること

3・11以降、福島で活動し社会へ発信を続けているゲストたちのお話を伺って、信州にいるからこそできることをいっしょに考えましょう！

日 時：3月9日(土) 午後の部13:00~16:30

場 所：松本合同庁舎講堂 (松本市島立1020)

講 師：福島子どもネット代表佐藤幸子さん、映画監督
鎌仲ひとみさん、漫才おしどりマコ&ケン

参加費：無料

問：子ども信州ネット北信 (斉藤)

TEL 026-222-0213

つながろうフクシマ！ひろげよう脱原発！ 3. 10長野行動

福島原発事故以来、福島は未だ深刻な状況が続いています。忘れず、他人事にせず、脱原発を訴えていきたいと考えています。

日 時：3月10日(日) 13:00~

場 所：南千歳公園

対象者：どなたでも

問：3. 10実行委員会 (本道)

TEL: 090-7251-1912

